

## 単元名 持続可能な社会へ 物やお金の使い方

配当時間 6時間

- 単元の目標 (1) 物や金銭の計画的な使い方と買い物、環境に配慮した生活に関する基礎的・基本的な知識及び技能を身に付けることができる。
- (2) 物や金銭の計画的な使い方と買い物、環境に配慮した生活について課題を見付け、その課題解決を目指して、物の選び方、買い方、使い方を考え、工夫することができる。
- (3) 物や金銭の計画的な使い方と買い物、環境に配慮した生活について、知識及び技能をより深く身に付けようとしたり、物の選び方、買い方、使い方をよりよくしたりしようとする。

## 標準的な展開例

05090201\_001

【準備等】プリペイドカード、マーク見本

学 習 活 動	留 意 事 項 など
<p>1 物をよりよく選ぶために、物との関わりを考える。</p> <p>★物を手に入れるためのいろいろな方法を考えよう</p> <p>○どのように物と関わって生活しているか考える。</p> <p>○消費者の役割について考える。</p> <p>○必要な物を手に入れる方法について話し合う。</p> <p>2 買い物について考える。</p> <p>★買い物の仕組みについて考えよう</p> <p>○いろいろな買い物の仕方を考える。</p> <p>・お店で買う。</p> <p>・電話で注文する。</p> <p>・インターネットで買う。</p> <p>○売買契約について知る。</p> <p>○売買契約が成立する場面を考える。</p> <p>3 いろいろな支払い方法について知る。</p> <p>★買い物するときの支払い方法を考えよう</p> <p>○買い物をするときの支払う場面について話し合う。</p> <p>○いろいろな買い物の場面について考える。</p> <p>○買い物について困ったことがあったときのことを考える</p> <p>4 買い物の手順を知る。</p> <p>★買い方の手順を考えよう</p> <p>○買い物をときに、どのように選んでいるかを考える。</p> <p>○買い物の手順を知り、どのように選ぶかを話し合う。</p> <p>5 買い物の場面を想定して、何を選ぶかを決める。</p> <p>★自分のほしい物を選ぶ</p> <p>○商品の上手な選び方を考える。</p> <p>○商品の表示とマークの意味を知る。</p>	<p>・ p. 36のイラストを見ながら考えるよう伝える</p> <p>・ 出た意見を分類しながら板書していく。</p> <p>・ 持続可能な社会についての視点を意識させるために、生活の中で関わっている物は、多くの人の労力や限りある資源やエネルギーを使って作られた物であることを押さえる。</p> <p>・ 消費者という言葉の意味を伝える。</p> <p>・ 必要な物の例は、児童の身近な物から挙げて話し合わせるとよい。</p> <p>【評】必要な物を手に入れる方法について話し合う活動を通して、「思考・判断・表現」を評価する。</p> <p>・ 具体的な形のないもの（電車やバスに乗る、DVDを借りるなど）についても取り上げる</p> <p>・ p. 38「資料2」を活用して、いつ売買契約が成立するかを考えられるようにする。</p> <p>・ p. 38「活動3 考えよう」を活用し、児童に役割演技をさせることで、契約が成立する場面を想定しやすいようにする。</p> <p>【評】売買契約の場面を考える活動を通して、「知識・技能」を評価する。</p> <p>・ 実際のプリペイドカードや電子マネー等の画面やアイコンを見せるのもよい。</p> <p>・ p. 39「資料4」を参考にいろいろな買い物の場面を想起させたり、物の購入だけでなく、サービスにもお金を支払っていることに気付かせたりする。</p> <p>【評】いろいろな買い物の場面について考える活動を通して、「思考・判断・表現」を評価する。</p> <p>・ p. 39「発展」や「資料5」を参考に、買い物におけるトラブルや消費生活センターの取組などを押さえる。</p> <p>・ 児童の身近な物（ゲーム・服・文房具など）を取り上げて、考えられるようにする。</p> <p>・ p. 40「いつも確かめよう」を参考に話し合うようにする。</p> <p>・ 環境に配慮した買い方に触れることで、エネルギーや物の使い方について意識できるようにする。</p> <p>・ 生活のために使うお金は、家族が働いて得た大切なお金であることを意識させ、計画的に買ったり、使ったりする必要性に気付くことができるようにする。</p> <p>【評】欲しい物をどのように選ぶのかを話し合う活動を通して、「知識・技能」を評価する</p> <p>・ 商品を選ぶ際には、いろいろな観点があることを押さえる。</p> <p>・ マークは、実物を用意したり、事前に探させたりしておくともよい。また、p. 41、99、117</p>

○自分の欲しい物を決めて、選ぶ練習をする。

○欲しい物について発表する。

6 環境に配慮した生活を工夫する。

★学習したことを生かして、環境や資源に配慮した生活を工夫しよう

○どのように環境や資源のことを考えて生活しているか話し合う。

○工夫していること、これから工夫したいことを書く。

も活用する。

- ・商品を選ぶ際のいろいろな観点や商品表示、マークを見直す時のポイントとするよう伝える。

【評】欲しい物を決める活動を通して、「思考・判断・表現」を評価をする。

【評】欲しい物について発表する活動を通して「主体的に学習に取り組む態度」を評価する

- ・事前に家の人に、環境に配慮した生活の工夫を聞いておくようにさせるとよい。

- ・p. 43の資料を参考にすることで、持続可能な社会を目指してわたしたちがしていることやできることについて考えるように伝える。

- ・「くらしキラリカード」に書かせ、友達同士で紹介するようにする。

【評】「くらしキラリカード」を書く活動を通して、「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。

【 備 考 】